

令和2年4月27日

自由民主党政務調査会長
岸田文雄様

自由民主党京都府支部連合会

新型コロナウイルス対策等に関する要望書(第二次)

新型コロナウイルス感染症対策につきまして、自民党として国民の声を反映させ、また国政を担う責任政党として、経済、財政、市民生活各般の諸課題を踏まえ、日夜ご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、コロナ感染症の収束に向けての諸課題について、京都府連として、去る4月16日要望書を提出いたしました。京都府域の厳しい現状とりわけ京都の街は個人事業者や小規模事業者が多く短期間でも非常に厳しい状況になる特徴があり、街の特性に応じた国への支援も求められるところであります。つきましては、今般第二次として、次のとおり喫緊の課題を要望いたしますので、その実現に向けて何卒よろしくお願い申し上げます。

要望事項

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(仮称)」

の増額について

- ・コロナ感染症対策については、自治体の財政力格差が、その制圧対策に影響を与えないことが重要。
- ・近隣自治体、都市との交流人口や都市の特性に応じた制度設計と配分が求められること。
- ・自治体においては、国民が経験したことのない非常事態の下で、市民の広範な不安、要望に丁寧に応え、市民一体となって、この難局を乗り越える必要があり、中小企業、小規模対策、医療現場対策等自治体の工夫する幅広い対策に、また、社会不安の払拭等の幅広い対策に応えられるよう自由度の高いものとするのが重要。
- ・以上の点を踏まえ、この国難を乗り越えるため、予備費充当あるいは第二次補正予算を早急に組み、当該交付金の大幅な増額を図ること。

以上